

令和2年度 第三回学校運営協議会 議事録

日時：令和3年2月13日（土）午前9：30～11：30

場所：大阪府立布施北高等学校 展開1教室

出席者：高田 克己様（会長）・中西 進泰様（司会）・菊地 栄治様・塚本 佳秀様・北野 正浩様・
片山 晴江様・校長・教頭2名・事務長・首席2名・教諭1名

1. 会長挨拶
2. 校長あいさつ
3. 令和2年度の総括と令和3年度に向けて（学校より）

（学校より）

- ・学校教育自己診断結果、総合学科卒業生アンケート結果について
- ・布施北の状況（入試関係・遅刻欠席関係・進路関係等）
- ・R2学校評価結果について
- ・R3学校経営計画について（めざす学校像・中期目標）※承認していただいた。

（ご意見等）

- ・エンパワメントスクール全体や布施北の受験希望者の減少が心配。学校運営協議会でできることはないか。
 - ・生徒の授業評価が上がっているのは良いこと。秋の授業見学の際、授業内容やICTを活用する等工夫している授業が増えていた。学校運営面で教職員の数値が下降している事には留意が必要。一方、コロナ禍で実習等に行けてない状況の中、生徒の数値が上昇しているのは、教員の努力の成果。また、コロナ禍の影響もあるのか、接客業等、進路決定率の低下が気がかりである。
 - ・学校満足度80%は素晴らしいが、残りの20%程の生徒への着目も必要。布施北へ進学した生徒が、中学校へ来て、楽しく充実していると報告してくれた。生徒会活動をもっと活発に！そして、教師と生徒が団結してさらに広報してほしい。
 - ・コロナ禍でデュアル実習が縮小されているなら来年以降、就職・進学ともに厳しいのではないか。
 - ・来年度の学校経営計画に、働き方改革の項目を追加したことは良い。残業が多い＝教員の不足、もっと声をあげるべき。若い先生が多い分活力があるはず。もっとその力を活かして学校を盛り上げて。
 - ・中身の濃い議論のためにも、学校教育自己診断等の配付資料は事前に送付してほしい。
4. 意見交換：【一人一社制の見直しとコロナ禍での学校における進路指導について】
 - ・コミュニケーション力が低い生徒には厳しい。未定率があがるのではと心配。就職率も大切だが離職率にも目を向けなければならない。生徒の将来にかかわるので、早くから生徒のためになるようもっと考えなければならない。デュアルが大きな要になってくる。
 - ・弱肉強食・自己責任のなかでやっていくしかない社会になっていくよう。それを高校時代に経験させようとしているのは無謀である。
 5. その他
 - ・「デュアルシステムの持続的発展を支える布施北高校地域協働本部準備会についての報告（準備会の実施・設立経緯と運営方向について・第1回の開催日程について）」